



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月10日

上場会社名 アマテイ株式会社 上場取引所 大
 コード番号 5952 URL http://www.amatei.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)曾根 拓
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経営管理本部長 (氏名)古市 健治 (TEL)06(6411)1236
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日~平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	1,174	△8.4	6	△86.7	0	△98.9	△6	—
23年3月期第1四半期	1,282	24.8	45	—	37	—	31	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 △13百万円(—%) 23年3月期第1四半期 22百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	△0 54	—
23年3月期第1四半期	2 56	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	5,025	852	16.3
23年3月期	4,959	866	16.8

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 819百万円 23年3月期 834百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	0 00	0 00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	0 00	0 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日~平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,370	△7.6	5	△93.5	△10	—	△18	—	△1 47
通期	5,100	△2.6	110	△7.2	70	△15.2	50	△39.4	4 07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 ()、除外 一社 ()

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

24年3月期1Q	12,317,000株	23年3月期	12,317,000株
24年3月期1Q	45,367株	23年3月期	44,867株
24年3月期1Q	12,271,633株	23年3月期1Q	12,272,987株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
5. 補足情報	11
生産、受注及び販売の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、平成23年3月に発生した東日本大震災による生産活動の低下や消費の冷え込みにより大きく落ち込み、経済環境は厳しい状況となりました。サプライチェーンの復旧は、当初の想定より前倒しで進む見込みではあるものの、海外経済の減速懸念に加え、円高基調の継続による影響が懸念され、個人消費や生産活動の急激な落ち込みなど、先行きに対する不透明感は一層強まりました。

このような事業環境のなか、当社グループ(当社及び連結子会社)の主たる事業である建設・梱包向事業のうち建設業界向は、平成23年1月から3月までの新設住宅着工が192千戸(前年同期比3%増)と漸く回復の兆しが見え始めましたが、震災による既存工事の遅れや中止等により、釘の需要には結びついていません。また、梱包業界向につきましても、需要は弱含みの横ばいで推移しました。

また、電気・輸送機器向事業は、電気、IT関連、自動車業界等の出荷が順調に推移していましたが、東日本大震災により状況は大きく変わりました。連結子会社の株式会社ナテックの工場は岩手県奥州市にあり、工場の被災は限定的ではありましたが、サプライチェーンの分断・停滞により、3月から5月にかけて売上高が激減しました。その後、ユーザーの工場操業が徐々に回復し、交通インフラも復旧したため、6月の売上高は震災前の水準まで回復しつつあります。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、1,174百万円と前年同四半期と比べ108百万円の減収となりました。営業利益は、東日本大震災の影響により売上高が減少したことと、原材料価格の値上がりにより6百万円と前年同四半期と比べ39百万円の大幅な減益となりました。また、経常利益は、0.3百万円と前年同四半期と比べ37百万円の減益となり、震災による損失を特別損失として5百万円計上したため、四半期純利益は6百万円の損失(前年同四半期は31百万円の利益)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(建設・梱包向)

建設・梱包向事業は、震災による既存工事の遅れ、中止等による需要の減少に加え、原材料価格の値上がりにより減収、減益を余儀なくされました。当事業の売上高は前年同期比5.1%減の871百万円となり、セグメント利益は前年同四半期に比べ21百万円減少し、37百万円となりました。

(電気・輸送機器向)

電気・輸送機器向事業は、震災による生産の操業への影響は少なかったものの、サプライチェーンの分断・停滞により平成23年3月以降の売上高は大幅に減少しました。当事業の売上高は、前年同期比16.7%減の302百万円となり、セグメント利益は前年同四半期に比べ16百万円減少し、19百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は5,025百万円(前連結会計年度末〔以下「前年度末という」〕比65百万円増)となりました。流動資産は2,819百万円(前年度末比96百万円増)となり、建設・梱包向及び電気・輸送機器向とも、東日本大震災による影響により、販売量が落ち込んだことにより受取手形及び売掛金は、前年度末に比べ103百万円減少しました。また、商品及び製品を中心とするたな卸資産は前年度末に比べ109百万円増加しました。固定資産は、2,206百万円(前年度末比30百万円減)となり、主に有形固定資産の減価償却が進んだことによりるものであります。

負債合計は、4,172百万円(前年度末比79百万円増)となり、流動負債は1百万円増加し、固定負債

は、長期借入金が増加したことにより、前年度末に比べ77百万円増加しました。

有利子負債(短期借入金、長期借入金)は3,002百万円(前年度末比131百万円増)となりました。これは、年度資金として長期借入金を280百万円新たに借入し、長期借入金の返済が194百万円であったことなどによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産の額は、852百万円となり、前年度末に比べ13百万円減少しました。これは、当第1四半期連結会計期間の四半期純損失が6百万円となったことなどによるものであります。

この結果、自己資本比率は、前年度末の16.8%から16.3%となり、1株当たり純資産は68.03円から66.79円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の業績予想につきましては、平成23年5月13日に発表いたしました平成24年3月期の連結業績予想のうちの第2四半期(累計)は、本日発表の平成24年3月期第1四半期決算短信において修正いたしました。修正の理由は、電気・輸送機器向は震災による影響は多大であったものの回復が顕著であり、当初予想より損失が減少する見込みとなりましたが、建設・梱包向は、震災による既存工事の遅れの回復が、秋以降にずれ込むことが予想され、減収・減益となる見込みとなったことによります。

当社グループの主たる需要先である住宅建設業界は、新設住宅着工戸数が引き続き低水準で推移するなど厳しい状況にあり、さらに3月に発生した東日本大震災による広範囲の被害、また、原発事故による電力供給の制限等の影響から、経済・産業活動の停滞が懸念され、先行きに対する不透明感が継続するものと予想されます。

このような状況のもと、当社グループといたしましては、新製品を開発し、生産量を維持しながら、生産効率をさらに高めてまいります。また、生産体制の合理化(設備集約・老朽設備の除却・廃棄、不採算品種の生産停止等)を進めるとともに、OEM先との連携強化により自社製品・OEM商品のコスト競争力を強化し、販売量を増やし、シェア拡大を図ってまいります。全社運動として収益力の改善に努めてまいります。

通期業績予想につきましては、建設・梱包向の需要は、平成23年下半年以降回復が見込まれ、また電気・輸送機器向は平成23年6月以降前年並みに回復してきていることから、平成23年5月13日に発表いたしました平成24年3月期の通期業績予想の変更はありません。

よって、当連結会計年度(平成24年3月期)の通期業績見通しにつきましては、連結売上高5,100百万円、連結経常利益70百万円、連結当期純利益50百万円を見込んでおります。

平成23年5月13日発表の平成24年3月期(平成23年4月1日～平成24年3月31日)の第2四半期連結累計期間の業績予想と今回の発表との差異は以下のとおりです。

(平成24年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	百万円	百万円	百万円	円	銭
前回発表予想 (A)	2,450	25	10	0	0	0
今回修正予想 (B)	2,370	5	△10	△18	△1	47
増減額 (B-A)	△80	△20	△20	△18		
増減率 (%)	△3.3	△80.0	—	—		
前期(平成22年9月期)実績	2,564	76	58	48	3	97

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	522,540	607,522
受取手形及び売掛金	1,254,090	1,150,516
商品及び製品	541,366	637,853
仕掛品	185,457	192,304
原材料及び貯蔵品	185,701	191,506
繰延税金資産	21,215	21,215
その他	17,368	22,775
貸倒引当金	△4,733	△4,266
流動資産合計	2,723,007	2,819,428
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	673,482	661,428
機械装置及び運搬具（純額）	527,581	522,998
土地	793,421	793,421
その他（純額）	28,854	28,229
有形固定資産合計	2,023,339	2,006,077
無形固定資産		
ソフトウェア	21,267	19,204
その他	24,194	23,348
無形固定資産合計	45,462	42,553
投資その他の資産		
投資有価証券	133,470	119,087
その他	59,334	63,043
貸倒引当金	△24,665	△24,649
投資その他の資産合計	168,139	157,482
固定資産合計	2,236,940	2,206,112
資産合計	4,959,948	5,025,540

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	871,059	831,597
短期借入金	1,817,060	1,865,828
未払法人税等	3,900	1,391
賞与引当金	31,841	17,539
その他	167,278	176,510
流動負債合計	2,891,139	2,892,867
固定負債		
長期借入金	1,053,731	1,136,732
繰延税金負債	36,989	30,884
退職給付引当金	84,169	91,551
役員退職慰労引当金	25,213	18,475
資産除去債務	2,462	2,471
固定負債合計	1,202,565	1,280,114
負債合計	4,093,705	4,172,981
純資産の部		
株主資本		
資本金	615,216	615,216
資本剰余金	40,181	40,181
利益剰余金	157,752	151,084
自己株式	△2,760	△2,796
株主資本合計	810,389	803,685
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24,486	15,950
その他の包括利益累計額合計	24,486	15,950
少数株主持分	31,366	32,923
純資産合計	866,243	852,558
負債純資産合計	4,959,948	5,025,540

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	1,282,353	1,174,291
売上原価	1,015,904	960,186
売上総利益	266,449	214,105
販売費及び一般管理費	220,782	208,054
営業利益	45,667	6,051
営業外収益		
受取利息	15	7
受取配当金	1,600	3,334
受取賃貸料	1,650	1,650
技術指導料	600	600
その他	2,471	2,877
営業外収益合計	6,338	8,469
営業外費用		
支払利息	11,820	11,014
その他	2,418	3,109
営業外費用合計	14,238	14,123
経常利益	37,767	396
特別利益		
固定資産売却益	79	—
特別利益合計	79	—
特別損失		
固定資産除却損	173	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	664	—
災害による損失	—	5,138
特別損失合計	838	5,138
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	37,008	△4,741
法人税、住民税及び事業税	652	652
法人税等調整額	10	△285
法人税等合計	662	367
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	36,345	△5,109
少数株主利益	4,810	1,558
四半期純利益又は四半期純損失(△)	31,535	△6,667

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	36,345	△5,109
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13,916	△8,538
その他の包括利益合計	△13,916	△8,538
四半期包括利益	22,428	△13,648
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	17,614	△15,204
少数株主に係る四半期包括利益	4,813	1,556

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	合計
	建設・梱包向	電気・ 輸送機器向	計		
売上高					
外部顧客への売上高	918,708	363,645	1,282,353	—	1,282,353
セグメント間の内部売上高 又は振替高	19	1,727	1,746	△1,746	—
計	918,727	365,372	1,284,099	△1,746	1,282,353
セグメント利益	58,816	35,357	94,173	△48,505	45,667

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	94,173
セグメント間取引消去	△659
全社費用(注)	△47,846
四半期連結損益計算書の営業利益	45,667

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	合計
	建設・梱包向	電気・ 輸送機器向	計		
売上高					
外部顧客への売上高	871,523	302,767	1,174,291	—	1,174,291
セグメント間の内部売上高 又は振替高	19	1,028	1,047	△1,047	—
計	871,542	303,795	1,175,338	△1,047	1,175,338
セグメント利益	37,586	19,212	56,799	△50,748	6,051

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	56,799
セグメント間取引消去	△688
全社費用(注)	△50,060
四半期連結損益計算書の営業利益	6,051

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

該当事項はありません。

5. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

① 生産実績及び仕入実績

当第1四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	前年同四半期比(%)
建設・梱包向	801,182	3.9
電気・輸送機器向	263,372	△6.2
合計	1,064,554	1.2

(注) 1 金額は、生産実績は製造原価、仕入実績は仕入価格によっており、セグメント間の取引については相殺消去しています。

2 上記の金額には、消費税等は含まれていません。

② 受注実績

当第1四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	前年同四半期比(%)
建設・梱包向	851,521	△10.1
電気・輸送機器向	173,055	△49.3
合計	1,024,577	△20.5

(注) 1 金額は、販売価格によっており、セグメント間の取引については相殺消去しています。

2 上記の金額には、消費税等は含まれていません。

③ 販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	前年同四半期比(%)
建設・梱包向	871,523	△5.1
電気・輸送機器向	302,767	△16.7
合計	1,174,291	△8.4

(注) 1 金額は、販売価格によっており、セグメント間の取引については相殺消去しています。

2 当第1四半期連結累計期間における主な相手先別の販売実績および当該販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第1四半期連結会計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)		当第1四半期連結会計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	
	金額(千円)	割合(%)	金額(千円)	割合(%)
大東スチール株式会社	119,888	9.3	136,476	11.6

3 上記の金額には、消費税等は含まれていません。